



作成日 2023年06月01日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	プラントガードT
製品コード	SDT-241
供給者の会社名	竹中産業株式会社
住所	東京都千代田区鍛冶町 1 丁目 5 番 5 号
担当部門	開発部
電話番号	03-3256-2355
ファックス番号	03-3254-8270
緊急連絡電話番号	03-3256-2355
受付日時	月曜日～金曜日（祝祭日除く）9:00～17:00
推奨用途及び使用上の制限	アスファルト付着防止剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		該当しない
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	生殖毒性	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分3
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分3

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
重篤な眼の障害
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書入手すること
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
環境への放出を避けること
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
直ちに医師に連絡すること

応急措置

暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること
施錠して保管すること
内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	アスファルト付着防止剤
組成物質	界面活性剤他
濃度又は濃度範囲	40%以下
CAS登録番号 (CAS RN)	企業秘密なので記載できない
官報公示整理番号 (化審法)	企業秘密なので記載できない
官報公示整理番号 (安衛法)	企業秘密なので記載できない

組成物質名	CAS登録番号	化管法指定化学物質の種類別	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン	61789-40-0	第一種 (1-035)	9-2027	-	4.3~5.3%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 必要に応じて医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 必要に応じて医師の診察を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診察を受けること。 必要に応じて医師の診察を受ける。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	
症状/損傷	眠気又はめまいのおそれ。
症状/損傷 眼に入った場合	眼に重度の損傷を与える。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	現在のところ有効な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療をすること。

5. 火災時の措置	
適切な消火剤	乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒ガスを放出する。
特有の消火方法	安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 関係者以外は安全な場所に避難させる。 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（自給式呼吸器、完全防護服）を着用して作業する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼との接触を避ける。 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。 作業所の十分な換気を確保する。 区域より退避させること。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること 排水溝や河川へ廃棄してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を回収すること。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 大量流出した場合は、砂や土で回収する。
浄化方法	吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
二次災害の防止策	漏えいした場合、着火源を除去すること。 漏出物質により滑る危険がある。 火花を発生させない工具を使用すること。

7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策 安全取扱い注意事項	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 使用前に取扱説明書を手事すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 個人用保護具を着用する。 作業場の換気を十分行う。 皮膚・眼との接触を避ける。
	衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
保管	安全な保管条件 安全な容器梱包材料	施錠して保管すること。 適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密栓して保管する。 銅（スチール）製容器（缶、ドラム）

8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		データなし
許容濃度		データなし
設備対策		作業場の換気を十分行う。
	呼吸用保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖作業服等）

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	データなし
凝固点	-8.0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	該当しない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし（水の存在により、引火点は測定不能である。）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	6.7~6.8（原液）
動粘性率	データなし
溶解度	水：水に可溶
n-オクタノール／水分分配係数（log値）	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.02~1.03（密度 15℃）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他データ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、運送の状況下では反応性はない。
化学的安定性	通常条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下では危険な反応は知られていません。
避けるべき条件	混触危険物との接触。
混触危険物質	酸化剤。
危険有害な分解生成物	通常の使用条件及び保管条件下において有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1 混合物成分濃度において ≥3% 区分1とした
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発ガン性	区分に該当しない
生殖毒性	区分2 混合物成分濃度において ≥3% 区分2とした
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性（短期/急性）	区分3 混合物成分濃度において ≥25% 区分3とした
水生環境有害性（長期/慢性）	区分3 混合物成分濃度において ≥25% 区分3とした
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
残余廃棄物	許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。
汚染容器及び包装	容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号 非該当 品名（国連輸送名） なし 国連分類 該当しない （輸送における危険有害性クラス） 副次危険 該当しない 容器等級 該当しない
国内規制	海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。 航空規制情報 航空法の規定に従う。 陸上規制情報 消防法、道路法に定められている運送方法に従う。
特別な安全上の対策	容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。
緊急時応急措置指針	171

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施工令第1条別表第1） 〔（3-アルカンアミドプロピル）（ジメチル）アンモニオ〕アセタート （アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。）及び（Z）-〔〔3-（オクタデカ-12-エンアミド）プロピル〕（ジメチル）アンモニオ〕アセタート並びにこれらの混合物（管理番号574）（4.8%）
毒物及び劇物取締法	非該当
化審法	優先評価化学物質（法第2条5項）
消防法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則

16. その他の情報

引用文献、参考文献	GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z7253:2019） GHSに基づく化学品の分類方法（JIS Z7252:2019） 事業者向けGHS分類ガイダンス（経済産業省） 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン。 製品評価技術基盤機構（NITE）GHS分類データ。 界面活性剤のGHS対応SDS作成ガイド（日本界面活性剤工業会）
免責条項	当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではありません。 製品の取り扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取り扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害、または費用に対する責任、直接・間接を問わず一切負いません。 当該安全データシートは本製品にのみ使用するべきであり、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことが有ります。